

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社えふがく		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 30日		R8年 4月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	R8年 3月 30日		R8年 4月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<プログラムの独自性>・ビジョントレーニング・5領域を意識した活動・家庭菜園の実施	・ビジョントレーニングでは子どもの様子をみながら飽きさせない内容を実施・おやつをチケット制にしていることで価格との折り合いのつけ方を学ぶ	・外部学習教材の導入・eスポーツを専門的に取り入れた独自のプログラムにより主体性の成功体験を育てる
2	<家庭との連携力>・保護者と密に情報共有し支援を提供できる	・SNSツールの使用により家庭との情報共有をしやすくしている	・保護者アプリの活用や定期的に面談実施により日々の様子や支援内容を可視化し透明性の高い情報共有を行う
3	<安心安全な環境づくり>・行動面での見守り体制・職員配置の適切さ・虐待防止、リスク管理の徹底	・活動範囲を限定することにより柵の配置が適切になされている・防犯カメラの設置によりリスク管理がなされている	・職員の質とチーム力の向上を目指す・研修の実施・情報共有・一貫性のある支援方針

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援室のスペースが限りがある点が課題	活動内容に応じた空間の使い分けに苦労している	個別支援や小集団活動を中心に環境を調整し子ども一人一人に目が行き届く支援体制を整える必要がある
2	現時点では利用児童数が限定的である	曜日ごとの利用人数にバラつきがある	支援体制の充実と関係機関への周知を進め、安定した運営に向けた体制整備を図る必要がある
3	箇所間もないため発展途上	運営の安定化までの道のり	柔軟に改善を重ねられる強みを活かし子ども一人一人に適した支援体制の構築が必要